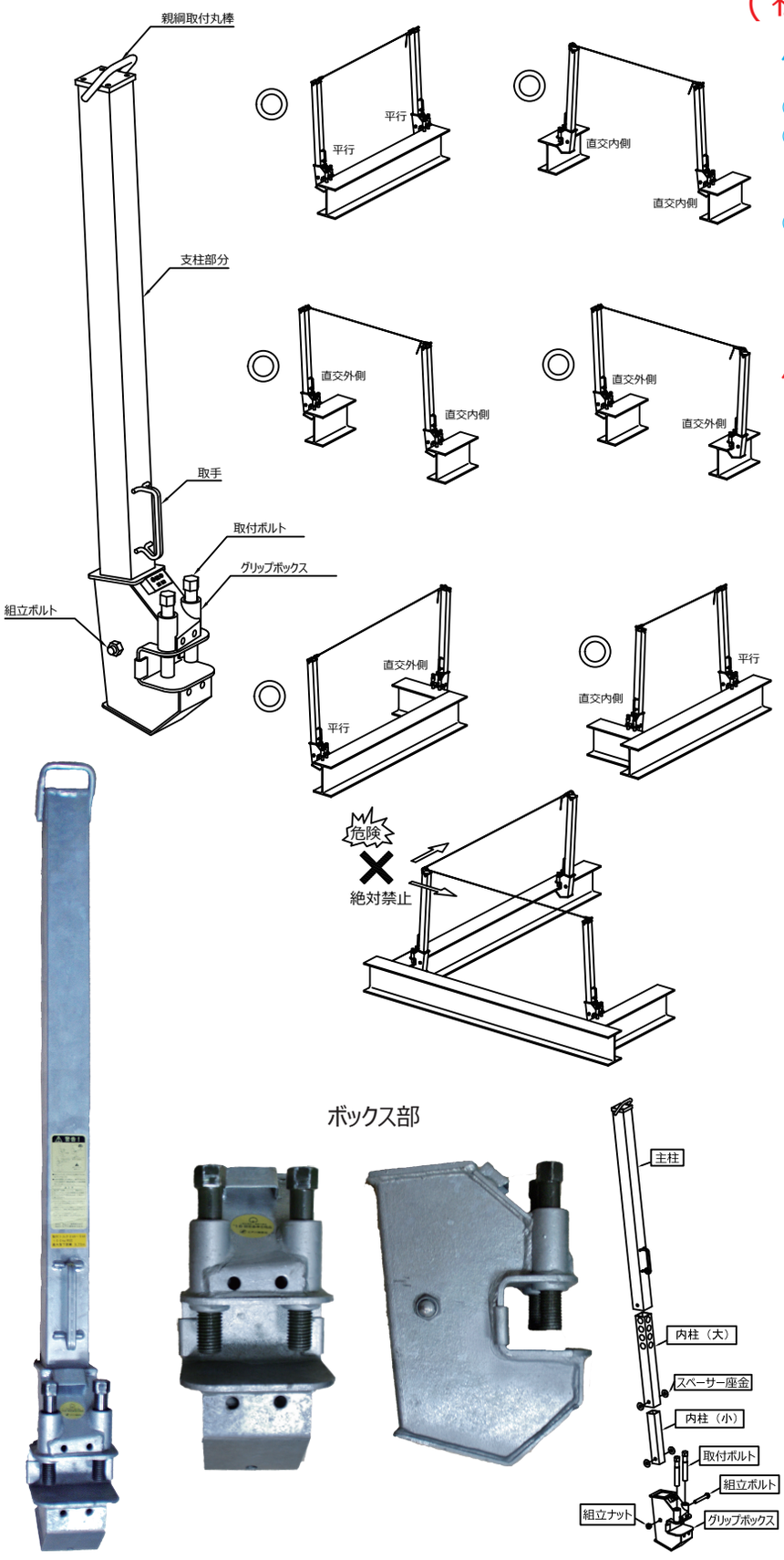
鉄骨用親綱支柱　ＳＫ－９２０Ｐ 兼用型

(社) 仮設工業会認定品



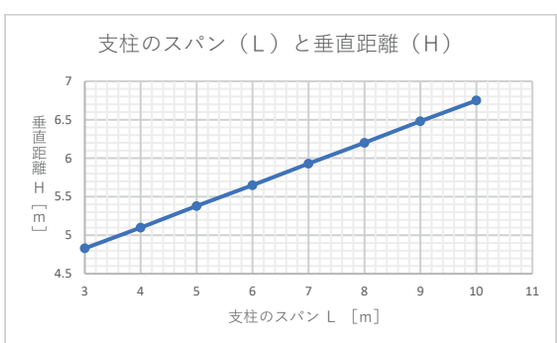
ボックス部

使用方法

①鉄骨用親綱支柱は10m以内で設置してください。
②支柱に付いてる2本のボルトを均等にラチェット等で
H型銅のフランジ等の支持物にトルク6KN･cm以上で
締め込んでください。
③親綱は目で見てたわんでないか、わずかにたわむ
程度に、人力で0.5KN程度で張ってください。
(親綱･緊張器は認定基準に準ずるものを
使用してください。)

使用上の注意

●コーナーに使用する支柱には平行方向と直交方向の
２本の支柱用親綱を同時に取り付けないでください。
●H 銅のフランジ部分は、 確実に支柱ボックス部の
奥まで差し込んでください。
●１スパンに作業者は必ず１人でご使用ください。
●墜落制止用器具は、 それぞれの使用方法を
遵守し安全に作業してください。
●親綱支柱のスパン (L) は、 設置する作業床と
衝突の恐れのある床面又は設備等の
垂直距離 (H) に応じ、 次式より算出した
値以下にして下さい。
Ｌ＝４０／１１（Ｈ－４）〔m〕
※垂直距離が上式を確保できない場合は、「墜落
制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」
(厚生労働省 2018/06/22 公表) に記述された
「作業場所の構造上、 低い位置に親綱を設置する
場合には、 短いランヤード又はロック機能付き
巻取り式ランヤードを用いる等、 落下距離を小さく
措置を講じること」に準じること。



特徴

●ほぼ垂直タイプの支柱で兼用型 (傾斜角 87 度)
●支柱が三層構造の為、 衝撃に対して支柱が
変形しながら力を吸収する構造になっています。
●本体がコンパクト
●集積時もコンパクト
●自重　8.8kg
●溶融亜鉛メッキ
●100kg 対応

販売元

セイコー機器株式会社

製造元

江戸川機鋼株式会社

代理店